

ICTホールの入り口横に設けられた愛称の看板をお披露目する応用電気の茶屋文成社長（左から3人目）ら＝26日、合志市須屋



熊本高専 熊本キャンパス ホール・工房 2社に命名権

合志市須屋の熊本高専熊本キャンパスは、校内のICTホールの名称を「YOYOELECTRIC ホール」、創作工房（ロボコン室）を「RENESAS BASE Re:NOVA」とするネーミングライツ（命名権）契約を、応用電気（京都市）とルネサスエレクトロニクス（東京）とそれぞれ締結。26日、熊本キャンパスで記念式典があった。契約は4月1日から3年間。契約額は非公表。収益は施設の運営、維持管理費に充てる。愛称は熊本高専から世

界へ羽ばたいてほしいとの思いから英語で表記。創作工房の愛称「BASE」には「よりどころ」という意味があり、部員らの居場所になってほしいとの思いを込めた。記念式典には応用電気の茶屋文成社長とルネサスエレクトロニクスの濱田正一プリンシパル・マーケティング・スペシャリストが出席。愛称の看板をお披露目した。熊本高専の高松洋校長は「地域と連携しながら未来を担う人材育成に努める」とあいさつした。（佐藤千尋）

訂正
27日付5面の「熊本高専熊本キャンパスホール・工房 2社に命名権」の記事と写真は説明で、「応用電気」は「応用電機」でした。